

令和3年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 山下幹雄議員

前年度当初予算比総額0.1%減の248億円で減少規模となった予算規模ですが、企業業績の悪化や個人所得の減少見込みを前年度比マイナス7億円超と市民税関連歳入に織り込み、地方特例交付金をはじめ基金の繰入れ、市債発行ほか減収補填債9,300万円、また前年度比6億6,000万円増の臨時財政対策債14億6,000万円等も積み込まれました。

将来負担を考えますと望ましいとは言えませんが、苦境の中バランスを保つ形に収められたと感じています。新型コロナウイルス感染症拡大も2波、3波、何とか乗り越えたものの、変異株が広がり、こうした危機が懸念されています。リバウンドを予期し、経済の復興と安定を考えればまだまだ財政対策は十分とは言えませんが、近隣市を見回しますと、長久手市0.5%減、日進市2.9%減と、税収不足見込みの中、本市同様厳しい財政状況であることをうかがわせております。

こうした中、非常事態において大規模事業の抑制、将来の行政規模を見据えた需要費等における歳出削減などの視点に対し、気にかかることも多々ありますが、都度、事業進捗をしっかりとチェックさせていただきますので、透明性のある現状に即した予算執行を期待し、賛成討論とさせていただきます。